

えんど久子市議12月議会で質問

農業や棚田を守るために

12月8日の市議会一般質問で、猿渡（えんど）久子市議は農業の支援と棚田保全の問題を取りあげました。

中山間地支払制度 を続けて

内成のみなさんから、今年度までとなっている中山間地等直接支払制度を継続するよう要望をいただいております、まずその問題で質問。

農林水産課長は、「国は農業の支援策として来年度予算要求をしており、行政刷新会議による事業仕分け作業でも『必要性は認められる。棚田を守るコミュニティとして考えてほしい』などの意見があり、一部事務費の削減はあったが、ほぼ満額で認められている。しかし、まだ不透明な部分が多い状況。市農林水産課としても、来年度以降の事業内容がはっきりした時点で継続へ向けての手続きをしていく予定」と答弁しました。

棚田サミット誘致を

また、えんど久子市議は、「たくさんの方が内成を訪れているが、地元の方も歓迎して下さりありがたい。全国棚田サミットを別府に誘致しては。他市や県とも協力し、取り組んではどうか」と質問。

市からは「全国棚田サミットは5年先の開催地まで決まっている。地元の協力体制も整ってきているので、来年度は別府市も全国棚田連絡協議会の会員になりたい。別府市単独開催では難しく、宇佐市や由布市等他の棚田との連携が必要で、県を中心に誘致活動を要望したい」と答弁がありました。

県や他市と協力し

棚田サミット誘致については、これまで何度も質問してきましたが、初めて具体的な答弁がありました。えんど市議は、「市長からも県に要望してもらいたい」と求めました。



ボランティアをひろげ

えんど市議は、農業の担い手は高齢化し、棚田を守るために年金から人件費を出して人を雇っていることなどを紹介。オーナーやボランティアを広げるため、市のホームページで紹介したり、内成にオーナーやボランティア募集の看板を立てることなどを求めました。

この議会報告は、政務調査費で作成しています。みなさんのご意見ご要望などをお寄せ下さい。

日本共産党 別府市議団
げんきニュース

発行責任者 平野文活
別府市石垣西8-2-31
TEL0977-22-6576

No.412
2010.1.13.

TEL・FAX 平野文活21-6749・野田紀子22-9253・えんど久子25-7630
<http://www.ctb.ne.jp/~jcpbesig/>

障害者タクシー券の充実を

障がい者の外出を支援するタクシー券のことで、「障がいの種別によって差がありすぎる」と、市民の方からご意見をいただきました。

障がいにより差がありすぎる

別府市では、下肢及び体幹機能障害2級以上（多くは車いす使用）の方にはリフト付きタクシーの基本料金の9割1370円のタクシー券を年48枚（計6万5760円分）交付しています。一方、それ以外の重度

他市とも差がある

大分市・日田市・臼杵市・津久見市では、障がい種別によりタクシー券の枚数に差はありません。えんど久子市議は、12月市議会一般質問で、現在5000円の券を交付されている方のタクシー券を充実するよう求めました。市の答弁は「他の福祉制度と均衡や財源の

差がありすぎる」と、市民の方からご意見をいただきました。心身障害者（身体1、2級、知的A1・A2・B1・精神1級）には500円のタクシー券1枚です。（それ以外に4000円のタクシー手当があり、8000円の福祉手当と合わせて振り込まれる）問題などもあり、慎重に対応する必要がある」というもの。部長答弁を求め、福祉部長は「他市との差は感じている。今後検討したい」と答えました。さらに、厚生消防委員会でも地域間の格差をなくすよう求めました。

近鉄跡地問題でえんど市議が質す



えんど久子のホームページ「はっぴいえんど」と「ねっと」をぜひご覧下さい。名前を検索すれば見られます。市議会の質問の映像を別府市議会のホームページで見ることができます。ご覧下さい。

近鉄跡地の複合マンション建設問題で、本多産建とロフティが新会社設立時の出資金を市内の事業者に依頼した文書に、「別府市議会や商工会議所、観光協会等から複合施設の建設に対したび重なる要望を受け中心市街地活性化基本計画への参加に同意した」とことや、「市に協力したばかりに大変な犠牲となり大損害をこうむる結果となった」とあります。また、「融資が正式に決定した」との記載もあります。

えんど久子市議は「この計画に対し、市は支援できる事は取り組んでいくとの方針だが、事実を反した文書を作成するような会社に市は支援すべきではない」と主張しました。

日本共産党の猿渡（えんど）久子市議は、